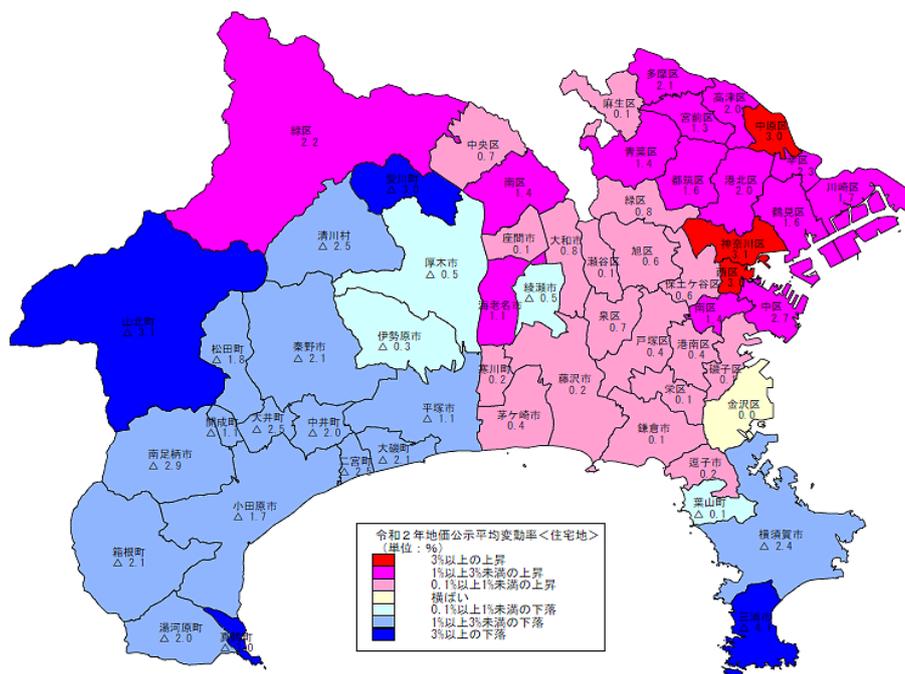




<令和2年地価公示；神奈川県市町村別平均変動率（住宅地）>



出典：神奈川県ホームページ「かながわ地価レポート」より抜粋

さらに、気になるデータがあります。

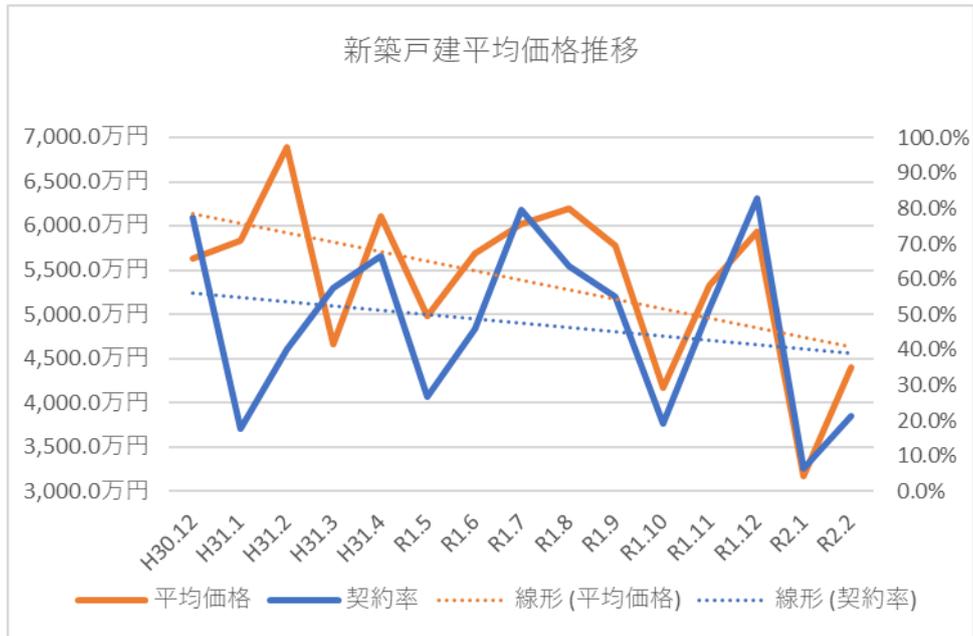
市況は堅調という機運にあったここ1年間においても、新築マンションや新築戸建住宅の売れ行きは、一部の物件を除いて決して好調ではありませんでした。

特に新築戸建は（以下のグラフは少ないサンプル数によるため参考データ）、平均価格・契約率ともに下降のトレンドが見られています。

<新築マンション販売動向>

	H31.1~3	H31.4~6	R1.7~9	R1.10~12	R2.1~2
契約率	65.8%	60.0%	70.6%	63.9%	65.5%
平均価格	5439万円	5114万円	5157万円	5348万円	5402万円
同単価	77.1万円/㎡	78.0万円/㎡	73.9万円/㎡	74.8万円/㎡	83.6万円/㎡
販売戸数	1929戸	1399戸	1194戸	2660戸	521戸

(不動産経済研究所発表のデータを基に弊所が作成)



(不動産経済研究所発表のデータを基に弊所が作成)

リーマンショック時とは様々な点で異なる状況が確認でき、必ずしも対比できるものではありませんが、県内の不動産市況については、既に弱含みの状況も見られてきていることから、足元の弱い地域は早い時期に影響が出てくる可能性が高いと考えられます。

一方、直近は堅調な地域については、これまでよりは弱いとはいえ、今後の経済動向や政策次第で状況は大きく変わってくるものと考えられます。

政府の実効性ある緊急経済対策の一刻も早い実行が期待されます。